

2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 フランス語圏文化学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 L'université Paris 7 LAC (littérature art cinéma)
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 9月 2日 ～ 2020年 5月 30日 出国日 2019年 8月 23日 最終帰国日 2020年 3月 18日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初はフランスに一生住みたい！できればフランスで働けたらいいなという希望を持っていましたが、様々な経験を通して、本当に海外で生きて行くということは大変だと実感しました。旅行で何度も行っていましたが、やはり旅行と留学は全く違います。

留学中はすごく辛い、帰りたい！と思うことは一度もなかったのですが、帰国して、振り返ると精神的に辛かったのだなと感じます。

コロナウイルスの影響で一時帰国をしたため、全て中途半端な形で留学が終了してしまいました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

TCFなどの勉強を2年始めから初めており、今自分にできることは全てやりきった！という思いで留学しました。もっと話せたらいいのと思う場面はたくさんありましたが、後悔したということはなかったです。

今できることをしっかりやって、フランスではあの時こうしてれば良かったな～と思うのではなく、これから頑張るぞ！！という明るい気持ちで留学してほしいです。

そのため、家にこもって勉強するのではなく外に出てフランスでしかできない勉強の仕方を楽しみながら勉強して見てほしいです。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

学部の授業を最低でも2つ履修しなければならない。とても難しい。

語学の授業は週に2時間を2コマしか取れない。Grammaire は日本で行なっていたものに比べ簡単に感じた。週4時間では少なすぎると感じた。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

学習院のように敷地があるというわけではなく、町の中に建物があるという感じ。図書館などは落ち着いていて勉強に集中できるが、フランス人の友人が勉強に集中している間に置き引きをされたと話していたため、あまり使用しなかった。

コピー機やパソコンもあるので便利。

学食はとても安い。セーヌ川の上の船の学食があり、夏場はとても気持ち良かった。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

FLE で開設されています。文法とアトリエの二コマが取れます。学部の授業はペタゴジックと相談して直接履修登録しなくてははいけません。FLE はネットからできます。

しかし、オンラインで登録し、先生の名簿にも名前があるにもかかわらず履修していることになっていませんでした。フランスではやはり信用せず全て直接言いに行った方がいいと思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

セーヌ川でのアソシエーションがあります。そこで友人を作ることも可能です。また、ほとんどの学生が日本語が上手なので、留学前から連絡をとり空港からの荷物移動など手伝ってもらっている人もいました。フランス語で連絡が来ますが、最初は日本語でメールを送っても大丈夫だと思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

CAF 到着後すぐに申請してください。遑って給付されると言われたため12月に申請しましたが、もらえませんでした。地域によって異なるそうです。

健康保険の加入はしていなくても申請できます。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

他のパリの区と比較すると、アジア人が多く街全体として受け入れられていると感じた。

観光地では観光客として見られるが、13区ではフランス人に道を聞かれることが多くあった。

しかし、一本くらい道に入ると薬物を勧められたり、道でバーベキューをするなど、集まりが毎日行われているので注意が必要。

パリに住んでみた感想としては、アジア人の女性というだけで、スリの対象になる。防犯対策はやり過ぎというくらいがちょうど良いくらいだと思う。

実際に、私は渡仏して2日目で子どもの集団スりに遭い、クレジットカードを盗まれた。

また、渡仏して1ヶ月で3人の友人が携帯を盗まれた。さらに、大使館に1度行った際、その場に3人もパスポートを盗まれ申請に来ている人がいた。

荷物は少なく、服装もできるだけ現地人に馴染む必要がある。

在仏日本大使館の被害者からの手紙を定期的に見ると、危機感を持つことができるので是非読んでほしい。

また、パリの北側、北駅・東駅の治安は悪いため注意が必要。夜は一人で歩かない方がよい。パリの治安は良くない。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

HFは迷子になるような作り。ホームページに地図があるのでスクリーンショットしておくくと便利です。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 370 ユーロ (現地通貨) 、(日本円) 約 45000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、5分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

先輩から伺ってこの寮を選択しましたが、とても良かったです。

寮母さんも優しく対応してくれました。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円 学習院大学の学費 (全額)

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 40 万 円

LCC の片道を購入し帰国時も片道を予約する予定でしたが、緊急帰国になったため片道 15 万さらに再渡航往復 15 万かかりました。

往復で帰りの便を予約していた場合、保険が下りたそうです。少し高くなりますがしっかり保証のある航空会社で往復チケットを予約することをお勧めします。

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 1000 ユーロ、(日本円) 約 1200000 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

パリで暮らす場合、やはり寮に入ることが一番いいと思います。自分で探す場合は少しパリ市内から出るだけで、値段も安くなります。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 (デビットカード)

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

デビットカードはその場で、日本円でいくら使ったかメールで送られてくるので便利。ユーロだといくら使ったか実感がわからないのでお金の計算をする際良い。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

JASSO も受給していたため生活費はそちらから出し、学習院大学海外留学奨学金は自分の研究に使わせていただきました。

オペラ・バレエなど舞台芸術の鑑賞

『LA TRAVIATA』ラ・トラビアータ (オペラ)

『HIROSHI SUGIMOTO』ヒロシ スギモト (バレエ)

『CANDLIEN』シンデレラ (オペラ)

『TOSCA』トスカ (オペラ)

『LES NOCES DE FIGARO』フィガロの結婚 (オペラ)

『LEAR』リア王 (オペラ)

『Concert de Noel』クリスマスコンサート (合唱)

『Les misérable』レ・ミゼラブル (ミュージカル)

『Casse-noisette』くるみ割り人形 (バレエ)

『Giselle』ジゼル (バレエ)

『Barbier de Seville』セビリヤの理髪師 (オペラ)

『Don quichotte』 ドン・キ・ホーテ (バレエ)

『Giselle』 ジゼル (バレエ)

オペラガルニエが 350 周年だったため、私が研究したいと考えている、グランド・オペラについて、フランス国立図書館と合同での展覧会や書籍が販売されていたため購入しました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

(2) 保険料

円

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

手荷物で 100 キロを持って行ったため、フランスで買うものはほぼなかった。

参考にならないかもしれませんが。

パリで欲しいものはなんでも購入できる。私はあまりお金を使いたくなかったため。家で使っているものをフランスで捨てる気持ちで持って行った。

卓上ライト (部屋がとにかく暗いため、勉強する環境がない。勉強用の明るいライトは売っていないため持っていくことを強く勧める！)

大きめ洗濯ネット 5枚

ノートや文房具などの勉強用品 自分の勉強に必要なもの、一年間勉強をするために行くので、勉強をする環境は整える必要があると思う。こだわりがある場合は…。

大きめのリュック 小旅行の際に便利

旅行用の化粧水などの小さいボトル

学校用のカバン・ボディーバック

シャンプー、リンス・硬水を軟水に変えるシャワーヘッド

以前に 2 週間ホームステイをした際に髪がバサバサになってしまったため、持って行った。

日本にいた時と髪質も変わらなかったためオススメ。シャンプー・リンスは人によって合う、合わないがあると思うが、私はバサバサになる。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

(4) 持って行けば良かったと思う物

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は買い物に行き、授業の予習などをしていました。

また午前中に授業が終わるときは、午後からディズニーランド、ルーブルなど積極的に外に出ていました。

暇な日はルーブル美術館で行われているガイドツアーに混ざって開設を聞いていました。

日本語もそうですが、フランス語での説明を聞き力をつけようと思いました。

予備知識があるとフランス語の説明も理解できとても楽しいです。

また、映画館が近くにあり平日は安いため友人とアイスお菓子を持って夜に映画にも行っていました。

(2) 週末

オペラやバレエを観に行っていました。また3連休だったためベルギーなど近くの国、さらにフランスの地方にも足を伸ばしました。

フランス人の友人の家に泊めてもらったりととても楽しかったです。

8. 後輩へのアドバイス等

とにかく積極的に外に出て行くべきです。パリほど観光地がたくさんあり、飽きない都市は二つとないと思います。

また、パリで出会う日本人はとても面白いです！新聞記者、番組制作会社の方や画廊を営んでいる方などたくさんの人に声をかけていただき、人脈も広がりました。画廊を営んでいる方にはルーブル美術館、ヴェルサイユ宮殿の説明をしていただき、オーディオガイドで知れないことなども教えてもらえました。早いうちからたくさん遊んでいましたが、それでも行きたいところはまだまだたくさんあります。

パリのどこを取っても、本当に飽きません！悔いのないように留学最初からアクティブに活動してほしいです。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

CAFの停止手続きを直接事務所におこないに行き、停止したはずが振り込まれおり、返金を求められている。CAFの振込先がCROUSのため、CROUSより返金をお願いしているが、最初に支払ったデポジットの返金も未だにされず、連絡もつかなくなってしまった。

フランスでのすべての手続きは早めに行ったほうがいい。到着して様々な手続きが終わった頃には、帰国の手続きを始めたほうがいい。すべて時間がかかり、まともに対応してくれない。